

令和4年度 第2回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 6月16日（木） 15時30分から17時10分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 ふれあいルーム
- 3 出席委員 馬淵 信夫、山下 泰弘、神間 智博（途中出席）、石田 由紀子、長谷川 卓人、牧田 景子
- 5 欠席委員 0人
- 6 事務局 鵜飼和生、大石智香子、勝永昌宏、谷野文彦、服部美保
- 7 オブザーバー 教育総務課 小川氏、都田協働センター 野中氏、
- 8 傍聴者 2人
- 9 協議事項

- (1) 校内教育活動について
- (2) 地域との連携について
- (3) 承認

10 報告

- (1) CS活動報告

11 会議録作成者 事務局 服部美保

12 会議記録

- (1) 校内教育活動について

勝永教務主任から、今年度の校内教育活動について「令和4年度都田南小学校グランドデザイン」に基づき説明があった。委員より以下の発言があった。

・イモ料理集会について。コロナ前は毎年実施されていたが、現在は料理集会ではない行事になっている。以前は地域の人に来てくれて、この地域の話を実際に聞くこともできた。食事がまだできないとしても、直接地域の人話を聞く、ふれ合う機会を設けてほしい。（牧田委員）

・昨年度は地域の人話を直接ではなく動画という形で見た。今年度も青空会員の方に何か協力をしてもらおうかと検討している。（勝永教務主任）

・私は「都田白昭満州開拓村物語」を何度もくり返し読んだ。この物語が今のイモ料理集会につながっている。ビデオも良いが直接地域の人とふれ合える機会であり、また実施できると良いと願う。とにかく直接ふれ合えるという機会が地域と子供たち両者にとって非常に良いことだと思う。（山下委員）

・「都田白昭満州開拓村物語」について。再販はしないとのことで、今年の新一年生に配付することができなかった。青空会員の人数が減ってきていると聞いている。武井さん以外の会員さんの情報があれば教えてほしい。（教頭）

・今年度から教科担任制が始まったが、感触としてどうか。（石田委員）

・成果→ ・今まで担任が全ての教科を指導していたため、準備に時間が掛かり大変だったが、その負担が軽減された。

・同じ教科を複数クラス持つことによって指導への責任感が生まれる。

- ・複数の先生に見てもらえるため、子供たちは色々な先生に相談しやすくなる。
- ・課題→
 - ・授業の進め方など悩んだときに今までのように他の先生に相談できない。
 - ・学級担任が児童の全体像を把握しづらい。把握するためには他の先生との情報の交換が必要。(谷野教諭)
- ・低学年には担任制だけで良いが、高学年になると、中学に向けて担任だけでなく、いろいろな先生に慣れていくことが必要になってくる。その分、教員同士はコミュニケーションがより求められ、単元の計画もしっかり立てるようになる。教員の勉強の場にもなると考えている。(勝永教務主任)
- ・教科担任制を取り入れることで、指導を効率よく、子供にとっても良い面が生まれるということですね。(石田委員)
- ・今までの担任制では、学級数の多い大規模な学校ほど、学級によって学力や学習進度の差があったのか。(神間委員)
- ・どの学級も同じ計画で進められてはいるが、教員の技術や経験の差は多少なりともあると思う。(勝永教務主任)

(2) 地域との連携について

地域との連携について現在活動している内容について牧田委員より説明があった。

- ① 都田ウォークラリーのパンフレット作りについて。夏休みに入る前に子供たちにデザインを考えてもらい、8月には原案を持って行きたい。日が迫っているので早めに協力をお願いしたい。
 - ・現在、都田地内にあるモニュメントの写真をもとに、子供たちにクイズを作ってもらおうと考えている。(谷野教諭)
- ② 浜松学院大学との連携で、協働センターから西部特別支援学校とポッチャで交流するという行事の依頼が来ている。
 - ・この行事は大学生がポッチャを子供たちに教えながら交流するという内容。西部特別支援学校の参加状況や日程などまだ未定の部分もある。(協働センター野中氏)
 - ・本校は毎年、西部特別支援学校との交流事業があり親しみがあるということでも声が掛かったようだ。大学側の行事のねらいがはっきりしてくると、計画を進めやすくなると思う。(教頭)
- ③ 6年生から夢授業の依頼が来ている。(社)MIYAKODAに依頼をしたところ。ボランティアの募集をさくら連絡網で全体に呼び掛けてくれるとありがたい。
 - ・去年の夢授業はどんな内容だったか。(石田委員)
 - ・浜松でプロレスマスクを作っている人に来てもらった。今年も卒業生などに来てもらい、話をしてくれると良いと思っている。毎月1人来てもらえるとありがたい。(牧田委員)
 - ・地元には人材がたくさんいると思う。(山下委員)

・入念な準備をしなくても気軽に、ハードルを上げず、気負わず来てほしい。(牧田委員)

・毎月なら、いろいろなタイプの人がいっても良いと思う。(神間委員)

・名前のついた仕事に就いている人だけでなく、会社員といっても実際にどんな仕事をしているのか等を話してほしい。ボランティアはいつも同じ人になってしまうが、いろいろな人とつながりたいと思う。是非委員の方につなげてほしい。

(牧田委員)

・学校でやっているキャリア教育は、自分の将来を考えてみたときに、こんな仕事に就きたいというだけでなく、こんな人になりたい(コツコツ努力する人になりたい等)という学びでも良いと思う。(教頭)

・何年前かに地元の中学生が来て、皆で色々と話をした記憶がある。たわいもない話だが。(馬淵委員)

・社会人だけでなく現役の大学生に話を聞くのも良いと思う。どうしてこの学校を選んだのか等を聞くことができる。(石田委員)

長谷川委員より、現在活用している地域ボランティア活用アプリ「Team in」について、今後継続していくことが難しいとの報告があった。今後はアプリに代わるツールを検討していくことを確認した。

報告

(1) CS活動報告

牧田委員より近況報告があった。

・外国語のボランティア2名は毎週来てくれている。家庭科の手縫いボランティアは3、4名来てくれている。先日、扇風機カバーの作業がスタートした。生地の寄付もたくさん集まった。6月に2回、7月に3、4回作業を予定している。募集はしているがメンバーはいつも同じ人になってしまう。

・1階のCS掲示板の制作を始めた。子供が中心の参加型掲示板にしたいと考えている。地域の活動で子供が参加できる催しがあれば教えてほしい。

・地域の活動の情報はなかなか入ってこないと思う。地域の草刈りの協力や花の植え替え等、自治会の情報を確保できると良い。(神間委員)

・今年度は外国語ボランティアの2名と勤務日が合わず、コミュニケーションをとることができない。負担になっていないか心配である。家庭科のミシンボランティアもさくら連絡網での募集をお願いしたい。(牧田委員)

・読み聞かせボランティアの調整役を今年度から牧田さんをお願いしているが、どんな具合か。(石田委員)

・年間計画の調整が本当に大変で、今までこの作業をボランティアさんがやってくれたのかと思った。でも、そのおかげでボランティアの人が読み聞かせに集中できる、楽しいと言ってくれていたのが良かったと思った。(牧田委員)

・今年度家庭科を担当しているが、玉留め・玉結びなど難しいので、ボランティアさんにとっても助けられている。ありがたいと思う。(谷野教諭)

その他

- ・10月29日(土)都南っ子まつりを予定している。まつり部と連携していく。(谷野教諭)
 - ・マスクの着用について。熱中症が心配な季節になってきた。登下校時、運動時はマスクを外すように指導している。保護者にも連絡している。現在新型コロナウイルスは生活レベル1となっていて、熱中症のリスクの方がより高いと思われるため、これからもマスクの適正着用について呼び掛けていきたい。(教頭)
 - ・小学校の金管バンド部が浜松市内全域でどんどん廃部になっている。都田南小学校においても縮小されているのが現状である。いま学校ではどういう議論になっているのか。(神間委員)
 - ・学校の部活自体以前は週に4日あったのが今は週に2日になっている。本校ではクラスの半数は部活に所属している。(教頭)
 - ・スクールガードリーダーの数の減少と高齢化が気になっている。もう少し若い世代もやってほしいと思う。(石田委員)
 - ・登下校の見守りは、いてくれるとありがたいと思う。(教頭)
 - ・コミスクだよりについて。去年は7号まで発行したがまだ周知ができていない気がする。良いアイデアはないか。(牧田委員)
 - ・ホームページ等、自分で見に行かないと見られない物は難しいと思う。例えばインスタグラムのような配信型のツールを考えた方が良いと思う。(神間委員)
 - ・アカウントを作ると誰でも入れてしまう可能性がある。セキュリティが心配。(牧田委員)
- 今後引き続き検討していくこととした。

その他報告事項等

司会から、今年度の会議開催予定について、第3回が9月20日(火)、第4回が12月13日(火)に変更になったとの報告があった。